

内容：課題を焦点化するために、導入で既習の問題と本時の問題を並べて提示し、比較しやすくしている。

■ ■ MetaMojj Classroom ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■

C2 協働学習：協働での意見整理

内容：教師が MetaMoji ClassRoom で個人ページとグループページのノートを作成しておく。児童は個人ページで考えをまとめてもよい。グループページは、協働的に学ぶ手立てとして、グループとしての考え（課題に対する答え）を形成させていくような役割をしている。最終的に話し合いながらグループページを完成させる。

備考：グループページを協働で完成させることを目標としているので、児童同士が話し合ったり、教え合ったりする姿が見られる。わからないことをわからないと素直にいえる学級の雰囲気も大切。

[illegible]

内容：教師が、単元に一枚「リフレクションシート」として準備しておく。単位時間の出口に児童が書き、蓄積していくもの。主にその時間に分かったこと、まとめを自分の言葉でまとめていく。

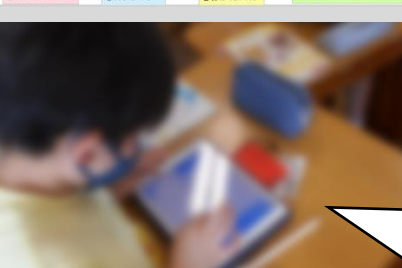
備考：板書を貼ったり，質問・疑問を書いたりしている児童もいる。



■ ■ NEW! GIFU ウェブラーニング ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■

内容：授業の終わりに、個人で NEW!GIFU ウェブラーニングにアクセスし、問題を解く。

備考：本時身に付けたい力が定着したかどうかを別の問題で確かめる、評価問題的な位置付けで行っている。



【岡田のおもいつ記】学習指導要領の改訂で、「どのように学ぶか」がキーワードになっています。今回の実践では、個人追求の場面で、「個人で考えるノート」か「グループでつくるノート」を児童が自由に選べるようにしています。自然な対話を促しながら課題解決を目指す授業を仕組んでいます。

ICT 活用にも段階があると思います。①ICT 導入時は「まず使ってみる」を合言葉に積極的な活用を目指します。②次にどこで効果的に活用できるか検討を行い、実践をします。③さらに、子ども自身が学び方を選ぶことを目指していきます。なので、この3つの段階を意識して授業を行えるといいと思います。